



最先端の情報管理ソリューション



ストレージ最適化することで コストを削減する

企業はかつてないスピードでデータを作成しており、データベースの肥大化やストレージ料金の高騰の課題につながっています。

アーカイブルールを設定し、コンテンツを自動的に安価なストレージに移動する運用を行うことで、コストを削減し、超過料金を軽減させましょう。

AvePoint Opus (オーパス) を利用することで、アーカイブしたコンテンツを効率的に管理することができます。豊富な検索機能や、エンドユーザーによるリストア、包括的なライフサイクル管理の機能が搭載されています。

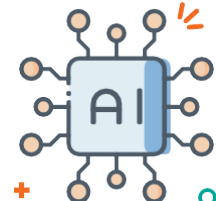


次世代のライフサイクル管理を実現

コンテンツの作成からアーカイブまで、ライフサイクル管理の全体を単一のインターフェイスで自動的に管理します。

他のソリューションとは異なり、AvePoint Opus はアクティブなデータも非アクティブなデータも可視化することができます。Microsoft 365 や Exchange Online、SharePoint、ファイルシステムなど複数のデータソースをサポートしているため、コンテンツがどこにあったとしても、シームレスに管理することができます。

直感的なダッシュボードを用いて、詳細な分析を実行できます。



AI による 大規模なコンテンツ管理

AvePoint Opus が提供する最先端の AI、“AvePoint Maestro” で情報管理にさらに拡張性を持たせることができます。

このスマートな分類ツールは機械学習モデルを活用することで、場所や追加ツールに可関わらず、大規模なコンテンツを分類することができます。

新しいコンテンツが追加されても Maestro は学習を続け、一貫性のある効率的な分類を実現します。

あなたの組織の“情報”を“資産”へ

既にデータが乱立しているというのに、それに対応するためのツールが乱立してしまっは元も子もありません。

AvePoint Opus は拡張性に優れたオールインワン・ソリューションであり、あらゆるコンテンツに対して強固な情報管理手法を実装することができます。自動化されたビジネスルールを構築することで、コンテンツの作成から分類、保存、アーカイブ、そして最終的な廃棄に至るまで、情報のライフサイクル全体を管理します。

特定の条件に基づいてコンテンツを自動的にアーカイブしたい場合でも、コンプライアンスに準拠した効率的な情報ライフサイクルを実現したい場合でも、Opus を利用することでワンストップで実現することができます。

AvePoint Opus は IRAP 評価、VERS および NARA に準拠しています。

ストレージコストの削減

最先端のアーカイブソリューションで、効率的なストレージ最適化を実現

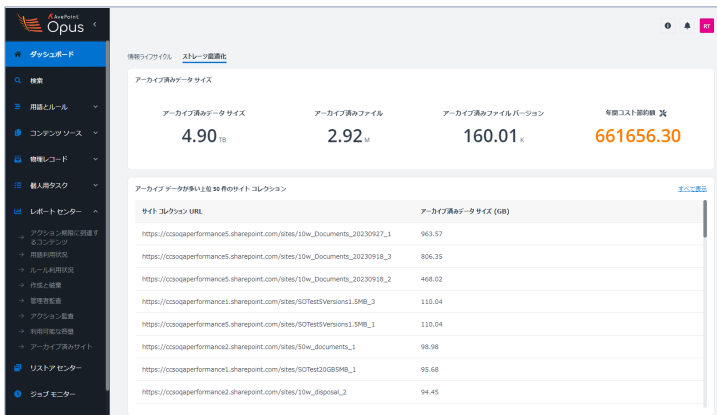
包括的なダッシュボードから、アーカイブのアクティビティやルールの適用状況、コスト削減状況を監視し、年間での削減できるデータの状況を表示します。SharePoint Online、OneDrive for Business、およびグループからコンテンツをきめ細かくアーカイブし、メタデータやワークフロー、権限情報を保持します。

コンテンツはさまざまなプロパティに基づいてフィルタリングしてアーカイブすることが可能で、さまざまなクラウドストレージドライブや FTP/SFTP 対応ロケーションに対応しているため、効率的なストレージ管理を実現します。

コンプライアンスに準拠した情報ライフサイクル管理

使いやすいインターフェイスによって、コンテンツの保持や廃棄を効率的に管理することができます。そのコンテンツが保存されている Microsoft 365 やその他のシステムの複雑な内部構造を理解する必要はありません。

コンテンツを整理し、ルールを関連付け、メタデータを追加することが可能です。柔軟なビジネスルールを設定し、自動化または手動承認による情報のライフサイクル管理を実現します。



効率的な検索とアクション

ブール演算子と最大 10 個の条件フィールドを活用し、メタデータを使用することで効率的なレコードの取得を実現します。検索結果を見ることで、廃棄保留の管理やコンテンツのレコードとしての定義などのアクションを即座に実行することができます。管理者監査レポートにより、システムガバナンスを確保します。

手間のかからないデータ復元

セルフサービスでのアーカイブデータの復元

アーカイブされたコンテンツは Microsoft 365、SharePoint Online、Groups、OneDrive for Business に簡単に復元できます。

メタデータ、ワークフローの状態、アクセス権はそのまま保持されます。エンドユーザーがセルフサービスでデータを復元できるインターフェイスを提供しているため、IT 部門の工数を減らすことができます。

大規模なデータ管理を効率化

最先端の自動化された分類によってデータを統御

Maestro AI による自動分類機能を使用して、大規模なデータ処理を効率的に実施できます。ルールを適用すれば、Microsoft 365、SharePoint、ファイルシステムのコンテンツが分類できます。ロールベースのアクセスにより、管理者の安全な監査を保証します。

統一化されたコンテンツ管理

データがどこにあっても統一で管理

AvePoint Opus の条件を適用して Exchange Online 内のメールを管理したり、SharePoint Online に移行したりすることができます。情報システム間で統一されたライフサイクル管理を実現します。物理的なレコード ストレージの設定、アクセス制御の適用、モバイル アプリでのバーコードを使用した一括文書管理が可能です。



AvePoint 製品・サービスに関するお問い合わせ

03-6853-6300 | SalesJP@AvePoint.com | 無償試用版はこちら: www.avepointonlineservices.com

AvePoint Japan株式会社 | 東京都港区高輪4-10-18 京急第一ビル 11階